

# 姫島の地域包括医療について

## 離島診療所の役割と仕事



姫島村国民健康保険診療所  
所長 三浦源太 (大分県12期卒)

# 姫島といえば 車エビ



もちろん生きています おどり食いがうまい！

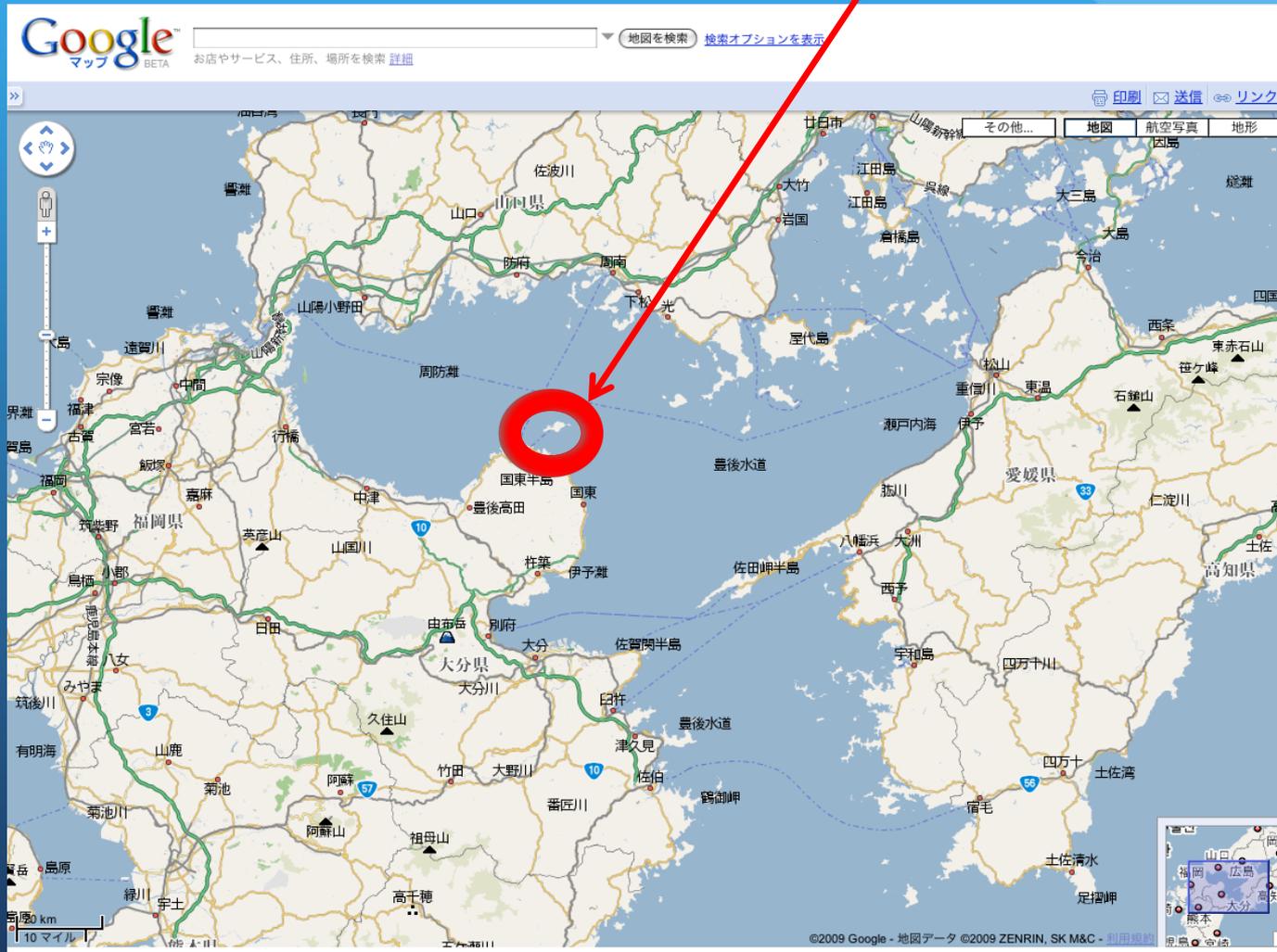
# そして、盆踊り（きつね踊り）



お盆期間には島民人口を上回る数の観光客が訪れます

# 姫島をgoogleで探すと

ここ!



# でも、拡大して写真で見ても



霞んでてなんだかわからない (T\_T)



# まずは姫島村の概要

人口 2468人 (平成17年国勢調査)

高齢化率 31%

大分県国東半島北端沖 6km

1日12便のフェリーで20分

島内に小・中学校あり

上下水道完備

ケーブルテレビ・ブロードバンドインターネット可



# 姫島村の医療保険の状況は

- 標準化入院受療比 **80.0** (大分県 100)
- 標準化入院外受療比 **85.4** (大分県 100)
- 国保1人あたり医療費 (一般・退職・老人)  
**362,170円**  
(大分県平均 470,516円の**76.9%**)

# 姫島村の介護保険の状況

- 要介護認定率 **11.6%**  
(大分県平均 18.4%)
- 介護保険料月額 **3,500円**  
(大分県平均 4,216円)

安いだけ？

医療・介護が貧弱なだけなのか？

# 姫島の健康寿命の状況

男性			女性		
1	大分市	76.77	1	姫島村	81.43
2	由布市	76.24	2	日田市	80.50
3	竹田市	76.02	3	由布市	80.18
	大分県	75.80	4	佐伯市	79.81
4	日出町	75.67	5	中津市	79.66
5	別府市	75.56	6	臼杵市	79.58
6	日田市	75.37	7	豊後高田市	79.45
7	津久見市	75.26	8	別府市	79.30
8	姫島村	75.32		大分県	79.30
9	中津市	75.28	9	大分市	79.29
10	臼杵市	75.23	10	豊後大野市	79.20
11	国東市	75.13	11	久住町	79.13
12	佐伯市	75.02	12	津久見市	79.09
13	杵築市	74.87	13	国東市	78.62
14	玖珠町	74.86	14	竹田市	78.55
15	豊後高田市	74.84	15	杵築市	78.50
16	宇佐市	74.80	16	玖珠町	78.33
17	豊後大野市	74.65	17	日出町	78.19
18	久住町	73.35	18	宇佐市	77.12

健康寿命(平均寿命-要介護状態期間)が比較的長い

# 健康長寿かつ低医療介護費の要因

- 温暖な気候
- 安全な生活環境
- 野菜・魚介類を多く摂る食生活
- 高齢者の活躍できる場
- 医療フリーアクセスの自然な制限
- 島内唯一の医療機関である診療所を中心とした地域包括医療・ケアの実践

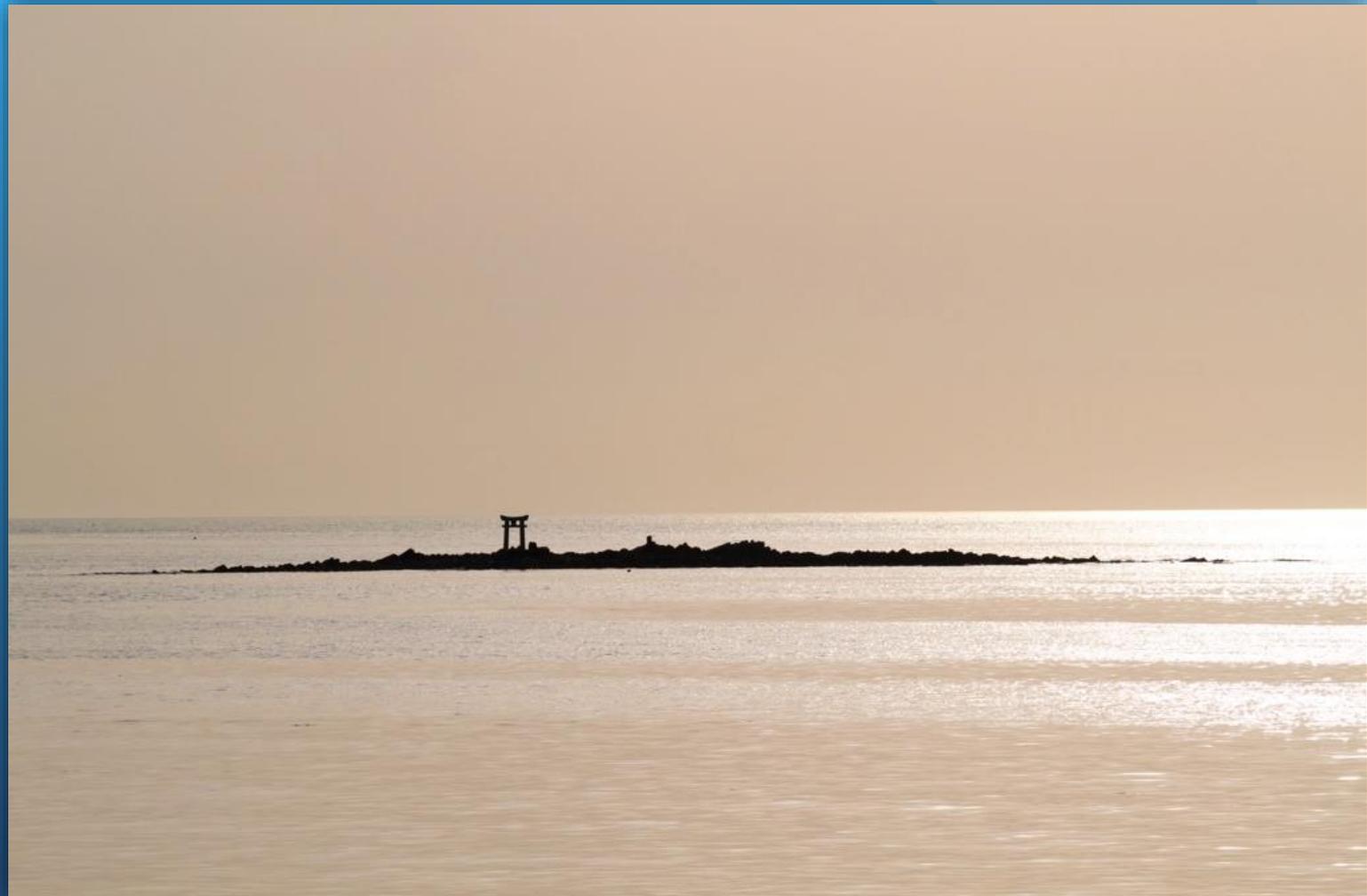
# 地域包括医療とは

- 包括医療（ケア）とは治療（キュア）のみならず保健サービス（健康づくり）、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護サービスのすべてを包含するもので、施設ケアと在宅ケアとの連携及び住民参加のもとに、地域ぐるみの生活ノーマライゼーションを視野に入れた全人的医療（ケア）
- 地域包括医療とは地域に包括医療を、社会的要因を配慮しつつ継続して実践し、住民のQOLの向上をめざすもの

国診協常任顧問・公立みつぎ総合病院病院事業管理者

山口 昇

# 浮洲神社



姫島北の海上に浮かぶ鳥居

干潮時には歩いて行けます

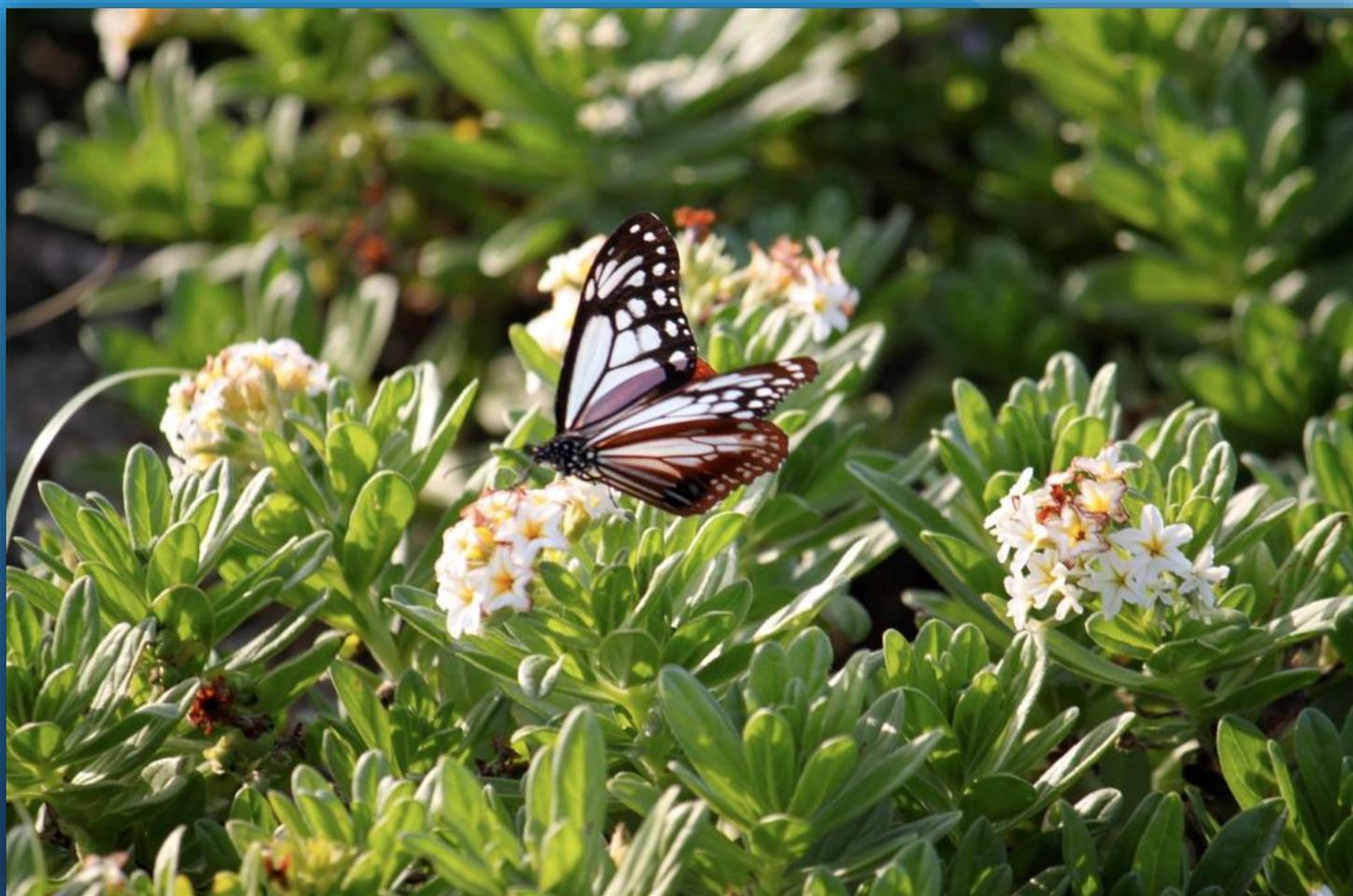
# 疾病予防の活動

- 小児の各種予防接種は、ほぼ100%接種
- インフルエンザワクチン接種料を安価に設定  
    昨年のべ1313件接種、小学生は80%に接種
- 中1・高3の麻疹追加接種も100%済み
- 3歳児むし歯有病率23.8%（大分県40.6%）
- 禁煙外来設置
- 保健師と転倒予防教室・糖尿病予備軍教室を実施

# 健診活動

- 集団健診 春の3日間、秋の1日間でのべ約1000名受診
- 漁業者の参加しやすい日程を潮見表を見て決定する
- 婦人会・役場一般職員にも手伝ってもらう
- 過去8年間の健診結果が診療所の外来で常時参照できる
- 昨年度 春の受診率は74歳以下国保加入者の60%
- 役場職員の共済健診・住民節目健診なども240名に実施
- 追加項目（ペプシノゲン,PSA,BNP,NTx,薬剤代謝関連遺伝子など）を年度によって設定し無料で実施

# アサギマダラ (渡り蝶)



姫島を經由し、東北地方から沖縄まで飛ぶことが確認されています

# 姫島診療所の沿革

昭和32年 開設 短期の派遣医師により日常診療を維持

昭和56年 全面改築・整備

昭和58年 松本孝医師、自治医大1期後藤憲文医師 着任

以後、松本所長と自治医大義務年限内医師1~2名の複数体制となり、在宅医療も含めた広範囲な診療（地域包括医療）が可能になった

平成3年 高齢者生活福祉センター一姫寿苑を隣地に開設（地域包括ケア）

平成6~8年 三浦 義務年限内赴任

平成12年 三浦 義務年限後再着任

# 姫島診療所の医療活動

- 1, 日常診療；外来・入院
- 2, 時間外診療・急患対応；初期診療と搬送
- 3, 介護サービスとの連携
- 4, 学生・研修医のへき地医療経験の場の提供

# 1, 日常診療

- 医師3名、歯科医師1名、看護師12名、他
- 外来診療 月～土 レセプト100件/日
- 時間外診療 100件/月
- 病床16床（医療10床 介護療養6床）病床稼働率60.2%
- 血液透析 3名
- 眼科診療 1回/月 国東市民病院より派遣
- 小児科健診 1回/月 関愛会佐賀関病院より派遣

## 2, 救急医療

- 離島のため24時間365日、まず診療所が対応する
- 医師3名の交代で休日夜間当直（島内待期）
- 重症者搬送には搬送先まで医師が添乗する
- 大分県でもヘリコプター搬送が軌道に乗ってきた
- しかし、夜間は漁船搬送に頼らざるを得ない

# 3, 介護サービスなどとの連携

姫島村国保診療所  
16床  
(在宅療養支援診療所)

地域包括支援センター  
毎朝のミーティング

健康推進課 (保健事業)

高齢者生活福祉センター  
姫寿苑  
(居住・デイ・ショート・ヘルパー)

連絡会議・ケアマネ会議

行政  
(住民福祉課)

高齢者  
家族

民生委員  
婦人会  
老人会

高齢者サービス調整会議

ボランティア  
近隣協力員

# 4-1, 学生の受け入れ

夏期の医学生実習（平成20年度）

大分大学 4名

（うち、3名は大分県地域枠学士編入の学生）

自治医大 2名

東京女子医大 4名

平成20年度は夏期実習期間中にヘリ搬送のシミュレーション  
訓練をロールプレイング形式で実施

# ヘリ搬送



平成20年ヘリ搬送訓練の様子

## 4-2, 研修医の受け入れ

臨床研修2年目「地域医療枠」のうち1～4週間

大分大学 4～5名

大分県立病院 2～3名

(新別府病院 1～2名)

外来、外傷処置、訪問診療（診察、看護、リハ）の経験  
姫寿苑で介護体験、（特技を披露してもらう）  
在宅介護支援センターや健康推進課の保健事業に参加  
地元有志との懇親会

# 千人堂と黒曜石



黒曜石の露岩（国指定天然記念物）  
姫島黒曜石の矢じりは、四国中国地方の縄文時代遺跡からも出土する

# 離島診療所勤務の良さ

- 住民との信頼関係が深く、長期的な保健医療ができる
- 保健・介護・救急など幅広い問題に対応する機会がある
- 関係機関と密接に連携し小回りのきく診療ができる
- 比較的時間の余裕はあり幼少時期の子育てに最適
- 昔と違いインターネットがあるため、日常生活の不便は少ない（amazonも1clickでちゃんと無料配送してくれます）

# スズキやタイなどを戴いたりします



このスズキは全長70センチくらい？ 自分でさばいてお刺身に！

# 離島診療所勤務の問題

- 時間外を含め365日24時間の対応が必要
  - 3人勤務でローテーションすれば負担感も少ない
- 研修機会の乏しさ
  - 週に1日は島外医療機関での研修を確保
- 家族の生活・子弟の教育
  - 現在、三浦は単身赴任中 妻子は大分市内に在住
  - 週末だけの家族生活は子供の大学進学まではしょうがないか？
  - 携帯、インターネットでのvideo chatなどの遠距離コミュニケーション手段は増えている

# おわり



瀬戸内海国立公園内の姫島では、美しい景色に出会えます